

第16回ヒアシンズハウス夢まつり in 別所沼

主催:ヒアシンズハウスの会 後援:さいたま市、さいたま文藝家協会、埼玉詩人会、JIA埼玉、うらわClip

日時: 2020年11月7日(土) 13:00 ~ 17:00

多謝と期待

目に見えぬものへの不安でおののいている中で、ヒアシンズハウスの存在はなんとも筆舌に尽くしがたい不思議な魅力があります。

沼の奥行きが神秘的であるからでしょう、尋ねた人に北歐的な雰囲気があるね、などと言われると、思わずそうです。ねと返してしまう。

メタセコイアに囲まれた沼の風景の西側に、黒松越しに、いかにも木造ですよという小屋風のハウスが見えます。

詩人の精神の在り場所です。と話す、それはいい。とおっしゃる。早世の建築家の精神を、五坪の中に収めたという。詩人でもありません。——などと立原道造を詩

人・建築家と一括りにしてしまうことにムリがある気がして来たのです。詩は表現することで具現化する。ヒアシンズハウスも形となった。けれども、詩を書かせ、建物の構想をあれこれ考えた源泉は何であったのかと思うのです。

不穩の世情の中でも、ヒアシンズハウスに訪ずれる人が多い。ハウスを通り抜ける風は特別な味がする。居心地は抜群で、開放的な窓からの景色は、世の中の不安を忘れさせる。こちらのほうの見えぬものは、人の心を豊かにします。夢が詰まった宝箱みたいなもので、飽きが来ません。ヒアシンズハウスも十六年を迎えて、いまままでのご支援に感謝。さらに杉板に多くの人の深い思いを塗りこめて風格がでてくることを期待しているのです。よろしく願います。

「風の詩」十三号と運営委員・佐野哲史さんの論文を同封しました。それをご覧になって十一月七日(土)におかけください。お待ちしております。

会代表 北原立木

別所沼会館〔13:00～17:00〕参加費:無料

- ごあいさつ [13:00 ~ 13:15] 北原 立木 (会代表)
- プログラム 1 [13:20 ~ 14:20] 講演:別所沼を渡る風 —立原道造と別所沼の文人・画家—
坂本 哲男 (美術研究家)
- プログラム 2 [14:30 ~ 15:00] 映像:ヒアシンズハウスの不思議
撮影 富田 宏 (映像作家) 解説 三浦 清史 (建築家)・佐野 哲史 (建築家)
ヒアシンズハウスの見所を余すところなく撮っています。興味尽きない映像作品。「ヒアシンズハウス」の再発見が楽しみです。
- プログラム 3 [15:10 ~ 15:40] ミニコンサート:柳田 明(トランペット)・柳田 律子(ヴァイオリン)
- 交流会 [15:40 ~ 17:00] 参加者を交えた話し合い

会報「風の詩」第13号で会計報告をいたしましたとおり、「ヒアシンズハウスの会」は運営資金のほとんどを会員の皆さまの会費収入でまかなっております。会員の皆さまには引き続き、ご理解とご協力をいただきまして、会費を納入くださいますようお願い申し上げます。

同封の郵便振替用紙をご利用ください。維持会員は3,000円、賛助会員は一口10,000円、いずれも別に振替料金が必要となりますのでご了承ください。

なお、新しく会員になってくださる方がおりましたら、下記までお知らせくださるとうれしく思います。



昨年のヒアシンズハウス夢まつりの一コマより

<ヒアシンズハウスの会事務局> 〒336-0021 さいたま市南区別所 5-5-9 北原 立木 Tel/Fax 048-863-4474